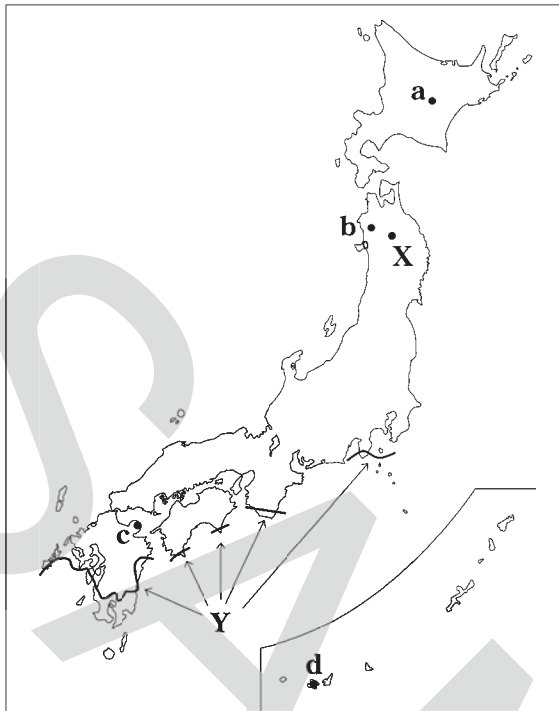


1 次の文章を読んで、あとの問いに答えなさい。

日本は、南北に長い国土をもち、地域によってさまざまな気候が見られます。気温は一般に、緯度が上がるにつれて下がる傾向が見られます。また、世界的に見て、日本は降水量の多い国ですが、年降水量や降水の多い時期は地域によって異なります。このような気候のちがいは、森林などの自然のようすにちがいを



をあて、人々の生活にも大きな変化をあてています。たとえば、本州や九州から遠くはなれた沖繩の民家や生活のようすは、たいへん特徴のあるものになっています。

気候だけではなく、地形もまた人々の生活に大きな影響をあてています。低地では、水を手に入れやすい反面、水害の危険があり、水とのつきあい方にくふうが必要となります。

このように、自然は人々の生活にさまざまな影響をあてています。ただし、最近では人間の活動が自然に影響をあて、以前にはなかった現象が見られるようになってきました。

(1) 下線あについて、地図の九州から伊豆半島にかけての線Yは、2月の平均気温が同じ温度の地点を結んだ線(等温線)です。その温度を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア 16°C イ 12°C ウ 8°C エ 4°C

(2) 下線いについて、次の問いに答えなさい。

① 日本の森林を大きく4つに分けて、それぞれの代表的な樹木を次のア～エに示しました。地図中のa～dの地域で一般的に見られる樹木はア～エのいずれかです。bとdに見られる代表的な樹木をそれぞれ一つずつ選び、記号で答えなさい。

- ア そてつ、マングローブ など
 イ しい、かし、たぶ など
 ウ ぶな、みずなら、とちのき など
 エ えぞまつ、とどまつ、しらびそ など

② 地図中のXの地域に一般的に見られる樹木は、Xとほぼ同じ緯度であるbの地域とはちがひ、aの地域と似ています。その理由を、次のことばに続けて答えなさい。

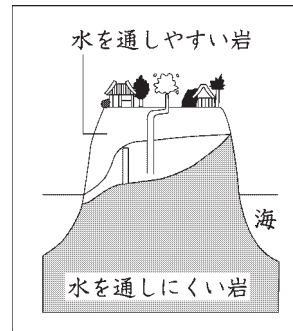
「X地域はbとほぼ同じ緯度になっているが」

(3) 下線うについて、次の問いに答えなさい。

① 沖繩の伝統的民家では、屋根が低く、かわらにくふうが見られます。また、家のまわりを樹木や高い石垣、ブロックで囲んだりすることがよくあります。そのようにする理由を、気候の特徴が明らかになるように答えなさい。

② 沖繩では、水不足に備えて水タンクを設置している民家が多く見られます。日本でも年降水量が多い地域でありながら、水不足になりやすいのはなぜですか。その理由となっている沖繩の自然の特徴を説明しなさい。

③ 宮古島では、地下水を利用するためにめずらしい対策がとられています。これについて示した右の図を見て、その対策を次の言葉に続けて説明しなさい。



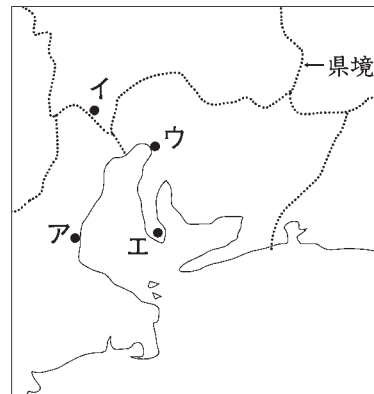
「地下水を利用するため」

④ 次の文章のA・Bにあてはまる語句を答えなさい。

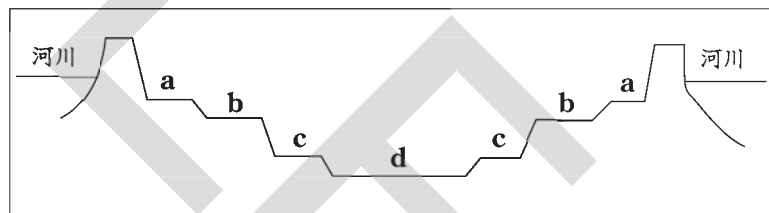
◎ 沖繩では、野菜や花を冬にも出荷しています。高く売するため、野菜を冬に栽培する地域はほかにもあります。沖繩では、他地域と比較してAの費用が高くなりますが、Bの費用が安くてすみます。

(4) 下線えについて、次の問いに答えなさい。

① 伊勢湾とその周辺では、高度が0m前後の低地で、洪水を防ぐために昔から周囲を堤防で囲んでいた地域が広く見られるところがあります。その地域を右の地図中のア～エから一つ選び、記号で答えなさい。



② ①で答えた地域の内部のようすを示した次の図の、a～dの土地利用を表したものとして正しいものをあとから一つ選び、記号で答えなさい。



- | | | | | | | | | |
|---|---|-------|---|-------|---|---|---|---|
| ア | a | 水屋 | b | 家(母屋) | c | 田 | d | 畑 |
| イ | a | 家(母屋) | b | 水屋 | c | 田 | d | 畑 |
| ウ | a | 水屋 | b | 家(母屋) | c | 畑 | d | 田 |
| エ | a | 家(母屋) | b | 水屋 | c | 畑 | d | 田 |

(5) 下線おについて、最近、都市部で、建物や人口・産業の密集によって気温が周辺よりも上昇し、等温線をえがくと島のような現象が見られ、都市部をおそう集中豪雨の原因の一つともされています。この現象の名称を次から一つ選び、記号で答えなさい。

- ア エルニーニョ現象 イ ドーナツ化現象
 ウ ヒートアイランド現象 エ フェーン現象